

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年3月24日（水）

2 確認箇所

- ・焼却工作建屋北西側及びサイトバンカ建屋西側周辺（地盤陥没箇所）
- ・サブドレンピットNo.40

3 確認項目

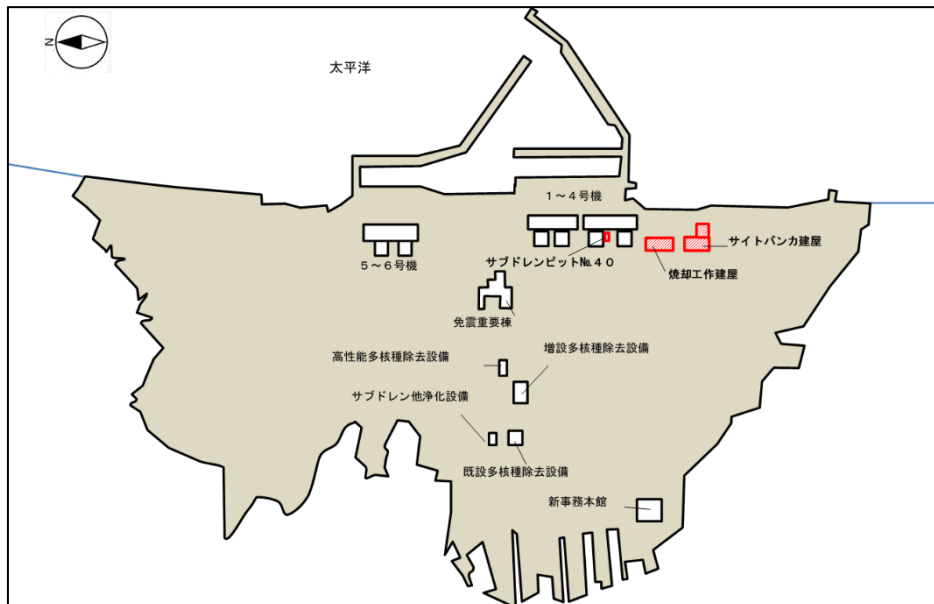
- （1）3月20日に発生した地震後の状況確認
- （2）サブドレンピットNo.40の油分回収状況

4 確認結果の概要

- （1）3月20日に発生した地震後の状況確認について

2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震により陥没等の影響を受けた焼却工作建屋西側やサイトバンカ建屋西側について、3月20日に発生した宮城県沖を震源とする地震後の状況を確認した。（図1）

- ・焼却工作建屋西側の陥没箇所周辺は、3月20日発生した地震による影響は確認されず、滞留水移送配管に異常は見られなかった。（写真1）
- ・サイトバンカ建屋西側の沈下箇所は、沈下が拡大し一部陥没していたが、周辺の配管に異常は見られなかった。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
焼却工作建屋西側陥没箇所①の状況
(2月17日撮影)



(写真1-2)
焼却工作建屋西側陥没箇所①の状況
(今回(3月24日)撮影)



(写真2)
サイトバンカ建屋西側陥没箇所の
状況

(2) サブドレンピットNo.40の油分回収状況について

昨年12月に油分の混入が確認されたサブドレンピットNo.40*の油分回収の状況を確認した。(図1)

- ・現地確認時には、サブドレンピットNo.40の確認作業等が行われていた。(写真3)
- ・東京電力によると、サブドレンピットNo.40の油分回収作業は、3月22日に終了し、今後、6月頃までは回収後の油分流入状況の確認を行っていくとのことであった。

※サブドレンピットNo.40：3号機原子炉建屋南西側にあるサブドレンピットで、当該ピットで汲み上げられた地下水は、他の3号機及び4号機原子炉建屋西側のサブドレンピットとともにサブドレン集水設備No.4中継タンク（以下、「No.4中継タンク」という。）に集水される。昨年12月8日にNo.4中継タンク内に油分の混入が確認され、その後、同中継タンク系統のサブドレンピット（全8ピット）の水の分析によりサブドレンピットNo.40に油分が混入していることが確認されて、No.4中継タンク系統の運転が停止された。なお、No.4中継タンクの復旧は完了しており、サブドレンピットNo.40及び当該サブドレンピットに近接している2基のサブドレンピットを除いて運転が再開されている。



(写真 3-1)
サブドレンピットNo. 40の確認作業
の状況



(写真 3-2)
油分回収用の汲み上げポンプ



(写真 3-3)
回収した油分貯留用の仮設ローリー
タンク

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。